Canon Satera LBP6710i

かんたん設置ガイド

プリンターの設置を安全に行なうための注意事項は、裏面の「安全にお使いいただくために」に記載されています。 P.6
設置を始める前によくお読みください。

最初にお読みください。
ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

Check!
開梱時の梱包材は保管する
購入時のパッケージ（箱）やパッケージ内の梱包材は、移転や移設、修理などのプリンター輸送時に必要になります。

Step 1 設置準備

同梱品がそろっているか確認する

不足しているものや破損しているものがあったときは、お買い求めの販売店までご連絡ください。

- プリンター
  次のものが取り付けられています。
  - 給紙カセット
- トナーカートリッジ
- 電源コード
- 保証登録のお願い
- ポケットガイド
- かんたん設置ガイド（本書）

- User Software CD-ROM
  次のものが収められています。
  - プリンタードライバー
  - NetSpot Device Installer
  - FontGallery
  - プリンタードライバー インストールガイド

- 取扱説明書CD-ROM
  次のものが収められています。
  - e-マニュアル
  - コントロールROM（CR-HIY）用マニュアル

設置する際は、e-マニュアルもあわせてお読みください

LANケーブルやUSBケーブルは付属していません。USBケーブルは、次のマークがあるケーブルをご使用ください。

設置場所を決める

温度／湿度条件
- 温度範囲：10〜30 ℃
- 湿度範囲：20〜80 %RH（相対湿度・結露しないこと）

電源条件
- AC100 V ± 10 %、15 A以上
- 50/60 Hz ± 2 Hz

設置条件
- 十分なスペースが確保できる場所
- 風通しがよい場所
- 平坦で水平な場所
- 本プリンターの質量に耐えられる十分な強度のある場所

以下の寸法を参考にして、設置スペースを確保してください。

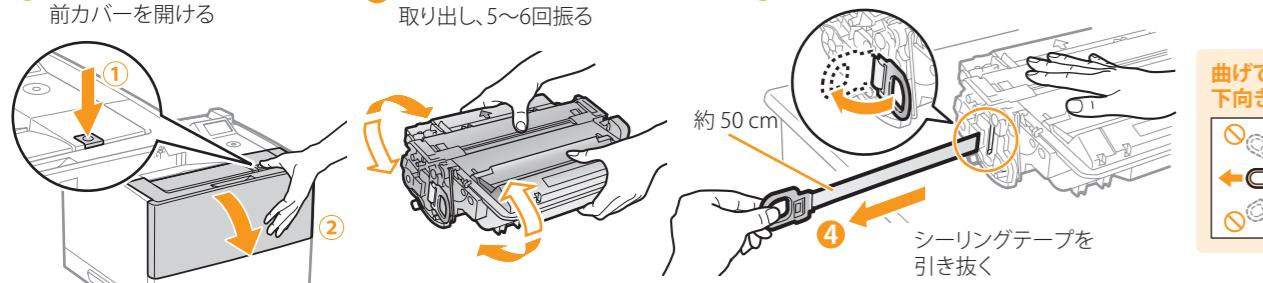
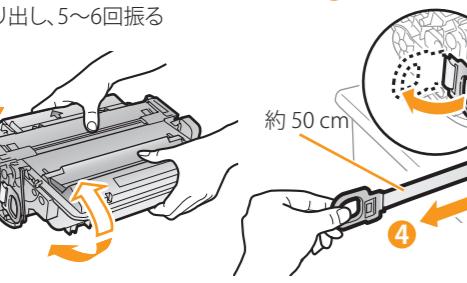
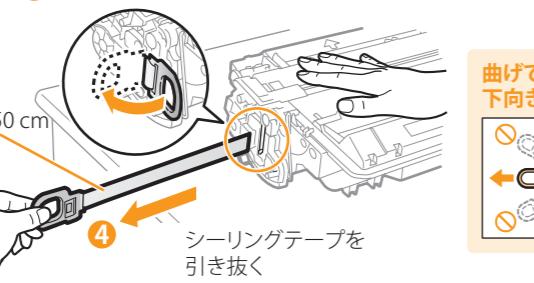
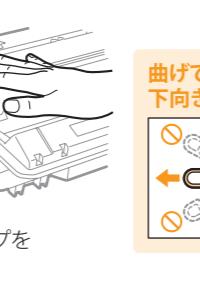
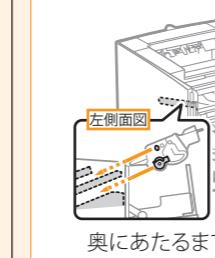
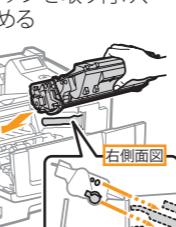
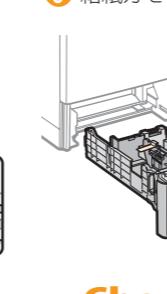
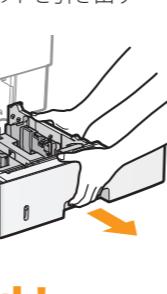
ペーパーフィーダー（2台）装着状態

テープはすべて取り外す

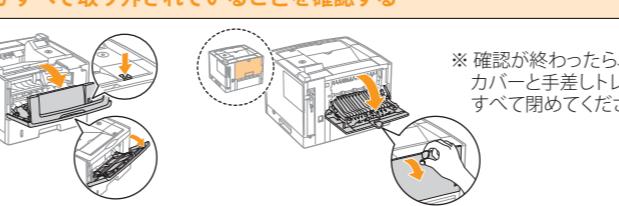
テープ

以降の手順を行う際、オレンジ色のテープがプリンターに貼られているときは、すべて取り外してください
※ 梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

Step 2 梱包材を取り外して、設置場所に運ぶ

1. オープンボタンを押しながら前カバーを開ける
2. トナーカートリッジを保護袋から取り出し、5〜6回振る
3. 平らな場所に置き、タブを折る
4. シーリングテープを引き抜く

P.2に続く

5. トナーカートリッジを取り付け、前カバーを閉める
   奥にあたるまで確実に押し込む
6. 給紙カセットを引き出す
7. テープを取り外し、梱包材のツメを押し込む
8. 用紙ガイドを移動する
   ロック解除レバーをつまみながら広げる
9. 梱包材を左右にずらして抜き取る

ここでは、まだ給紙カセットをセットしないでください。

Check!
梱包材はすべて取り外しましたか？ ※ 下記の梱包材は、地域の条例にしたがって処分してください。
- テープ
- シーリングテープ ×1
- 梱包材 ×1

オレンジ色のテープがすべて取り外されていることを確認する

※ 確認が終わったら、カバーと手差しトレイをすべて閉めてください。

同梱のポケットガイドの裏表紙に、シリアルナンバーと購入日をご記入ください。
お買い求めの販売店または「キヤノンお客様相談センター」にお問い合わせの際に必要です。

シリアルナンバーは、上の図で示す位置に表示されています。

ペーパーフィーダーを取り付けて使用するとき

プリンターを設置場所に運ぶ前に
ペーパーフィーダーを設置してください。
ペーパーフィーダーを取り付ける P.4

次のオプションの取り付け方法については、e-マニュアルをご覧ください。
- ROM
- SDカード

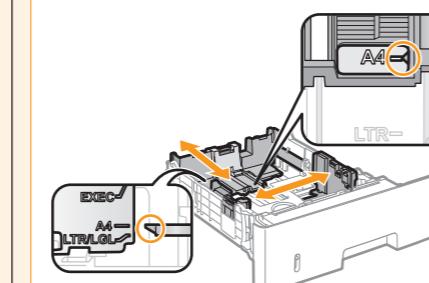
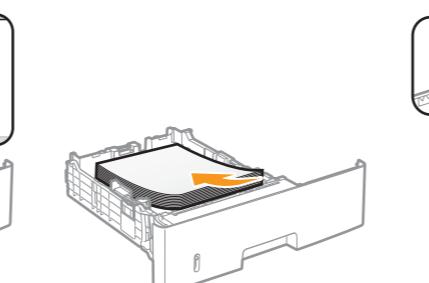
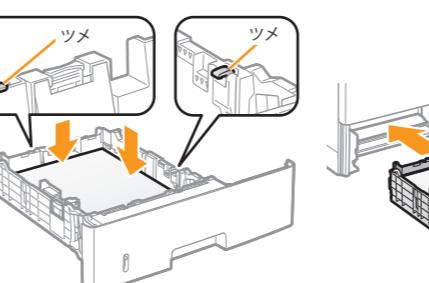
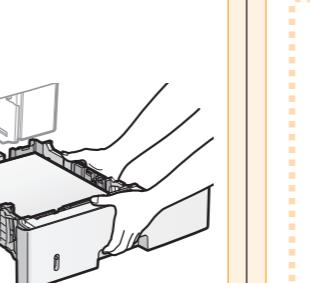
ペーパーフィーダーを取り付けないで使用するとき

プリンターを設置場所に運んでください。

運搬用取っ手にプリンター前面から手を掛けて運んでください。

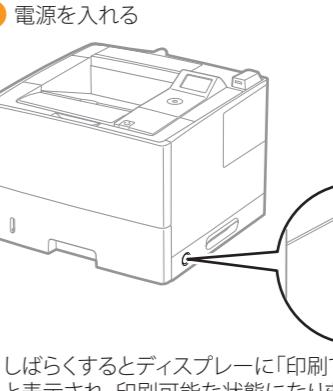
Step 3 給紙カセットに用紙をセットする

A4サイズの用紙をご用意ください
Step5で、動作の確認のためステータスプリントを印刷します。ステータスプリントはA4サイズ用紙に設定されていますので、ここでは、A4サイズの用紙をセットしてください。

1. セットする用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動する
   ロック解除レバーをつまみながら調整する
2. 用紙を後端の用紙ガイドに合わせてセットする
   印刷面を下にする
3. 用紙をツメの下に入れる
4. 給紙カセットをセットする
   しっかりと奥まで押し込む

Check!
積載制限マークの線を超えないようにセットしてください。 ←ここまで

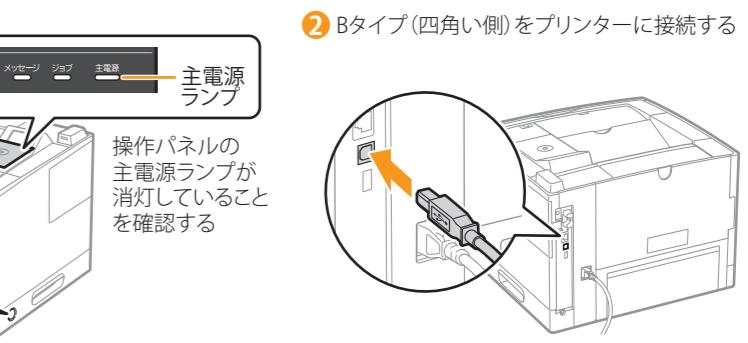
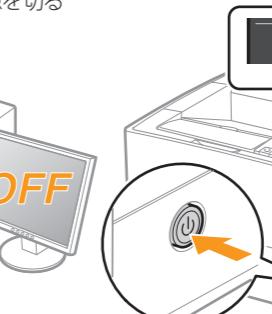
Step 4 電源コードとアース線を接続する

1. 電源コードを差し込む
2. アース線のキャップを外して、専用のアース線端子に接続する
3. 電源コンセントに差し込む

Step 5 プリンターの動作を確認する

1. 電源を入れる
   しばらくするとディスプレーに「印刷できます。」と表示され、印刷可能な状態になります。
2. プリンターのオンラインランプが点灯していることを確認する
   点灯していない場合は、［オンライン］キーを押します。
3. ［ユーティリティー］キーを押す
4. ［▲］、［▼］で「共通ステータスプリント」を選択して OK を押す
5. ［▼］で「はい」を選択して OK を押す
   ステータスプリントが印刷されます。

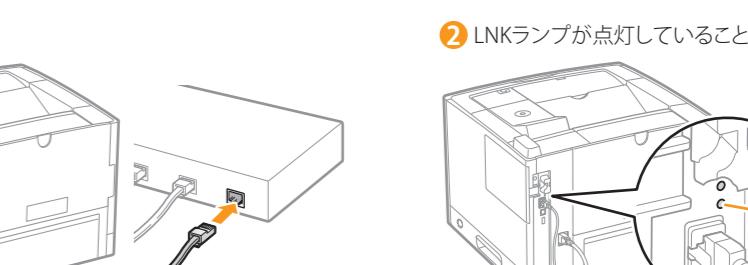
Step 6 プリンターとコンピューターを接続する

USB接続の場合

1. 電源を切る
   操作パネルの主電源ランプが消灯していることを確認する
2. Bタイプ（四角い側）をプリンターに接続する
3. Aタイプ（平たい側）をコンピューターに接続する

ここではまだプリンターの電源は入れないでください。電源は、プリンタードライバーのインストール中に入れます。

Step 7 P.4へ

LAN接続の場合

1. LANケーブルを接続する
2. LNKランプが点灯していることを確認する

続いて、操作パネルでプリンターのIPアドレスの設定を行います。P.4へ

続いて、操作パネルでプリンターのIPアドレスの設定を行います。

※[戻る]キーを押すと、ひとつ前の階層へ戻ります。

IPアドレスの手動設定や、その他のプロトコルの設定（DNSやWINSなど）の設定手順は、本プリンターに付属の取扱説明書CD-ROMに収められているe-マニュアル（HTMLマニュアル）に記載してあります。

取扱説明書CD-ROM

ここではIPアドレスを自動（DHCP）で設定する手順で説明しています。

1. [セットアップ]キーを押して、[▲]、[▼]で「ネットワーク」を選択し、OK を押す
   メッセージが表示されたら、OK を押します。
2. [▲]、[▼]で「TCP/IP設定」を選択し、OK を押す
3. [▲]、[▼]で「IPv4設定」を選択し、OK を押す
4. [▲]、[▼]で[IPモード]を選択し、OK を押す
5. [▲]、[▼]で「自動」を選択し、OK を押す
6. [▲]、[▼]で「プロトコル」を選択し、OK を押す
7. [▲]、[▼]で「DHCPによるアドレス設定」を選択し、OK を押す
8. [▲]、[▼]で「オン」を選択し、OK を押す
9. プリンターの電源を入れなおす
   プリンターの再起動後に設定が有効になります。
   ※本製品が自動的にIPアドレスを設定します。約2分お待ちください。

Step 7 プリンタードライバーをインストールする

LIPS LXとLIPS4プリンタードライバーの違い

LIPS LX
印刷データの処理をコンピューターとプリンターで負荷分散することによって、従来よりも高速で安定した印刷ができるほか、少ないメモリーでの動作が可能です。

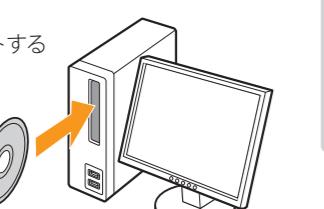
LIPS4
ドライバー上でのフォームオーバーレイ機能、TrueTypeフォントの置き換え機能など、従来のドライバーに実装されていた機能を使用することが可能です。

USB接続でインストールするときは

USB接続の場合、インストールするプリンタードライバー（「LIPS LX」または「LIPS 4」）の種類と、操作パネルの「ページ記述言語(PnP)」の設定が異なると、プリンタードライバーを使用できません。プリンターの操作パネルで「ページ記述言語(PnP)」の設定を行ってください。

「ページ記述言語(PnP)」の設定方法

1. [セットアップ]キーを押して、[▲]、[▼]で「拡張機能」を選択し、OK を押す
2. [▲]、[▼]で「ページ記述言語（PnP）」を選択し、OK を押す
   メッセージが表示されたら、OK を押します。
3. [▲]、[▼]で使用するプリンタードライバー（「LIPS LX」または「LIPS 4」）を選択し、OK を押す
4. プリンターの電源を入れなおす
   プリンターの再起動後に設定が有効になります。

1. コンピューターの電源を入れる
2. 付属のUser Software CD-ROMをセットする
   セットアップ画面が表示されます。
3. [インストール]をクリックする
   以降、画面の指示にしたがって操作してください。

操作方法で不明な点があるとき

プリンタードライバーのインストール方法の詳細は、本プリンターに付属のUser Software CD-ROMに収められているプリンタードライバーインストールガイドに記載してあります。

プリンターのセットアップが終了しました

ここまでの手順が終了すると、プリンターをお使いいただくことができます。

Option ペーパーフィーダーを取り付ける

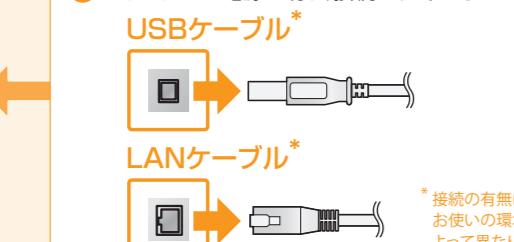
プリンターとペーパーフィーダーを同時に設置するとき

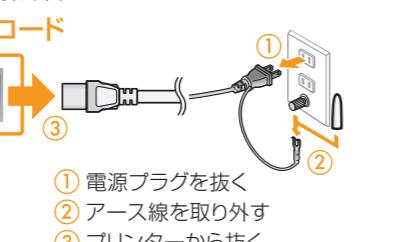
P.5

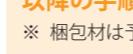
ペーパーフィーダーをあとから設置するとき（プリンターをすでに使用しているとき）

1. コンピューターの電源を切る
2. プリンターの給紙カセットを引き出す
3. プリンターの電源を切り、接続されているケーブルやコードを取り外す

USBケーブル*

LANケーブル*

* 接続の有無は、お使いの環境によって異なります。

電源コード

① 電源プラグを抜く
② アース線を取り外す
③ プリンターから抜く

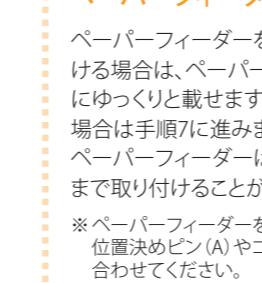
テープはすべて取り外す

以降の手順を行う際、オレンジ色のテープがペーパーフィーダーに貼られているときは、すべて取り外してください

※ 梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

ペーパーフィーダー

1. ペーパーフィーダーを箱から取り出す
2. 給紙カセットを引き出す

3. テープを取り外し、梱包材のツメを押し込む

4. 用紙ガイドを移動する
   ロック解除レバーをつまみながら広げる

5. 梱包材を左右にずらして抜き出す
6. 設置場所に運ぶ
   両手で左右の運搬用取っ手を持って運んでください。

ペーパーフィーダーを2台取り付けるとき

ペーパーフィーダーを2台取り付ける場合は、ペーパーフィーダーにゆっくりと載せます。1台のみの場合は手順7に進みます。
ペーパーフィーダーは最大2台まで取り付けることができます。

※ペーパーフィーダーを載せるときは、位置決めピン（A）やコネクタ（B）も合わせてください。

Check!

梱包材はすべて取り外しましたか？

※左記の梱包材は、地域の条例にしたがって処分してください。

オレンジ色のテープがすべて取り外されていることを確認する

プリンター本体

7. プリンターを設置場所に運ぶ

運搬用取っ手にプリンター前面から手を掛けて運んでください。

8. プリンターをペーパーフィーダーの両側面や前面に合わせてゆっくりと載せる

※プリンターを載せるときは、位置決めピン（A）やコネクタ（B）も合わせてください。

続いて、次の手順にそって作業を進めます

プリンターとペーパーフィーダーを同時に設置したとき

1. 用紙をセットする P.2
   プリンター本体に標準の給紙カセットの手順を参考に、ペーパーフィーダーにも用紙をセットしてください。
2. 電源コードとアース線を接続する P.3
3. プリンターの動作を確認する P.3
4. プリンターとコンピューターを接続する P.3、4
5. プリンタードライバーをインストールする P.4

ペーパーフィーダーをあとから設置したとき（プリンターをすでに使用しているとき）

1. プリンターの給紙カセットをセットする
2. 用紙をセットする P.2
   プリンター本体に標準の給紙カセットの手順を参考に、ペーパーフィーダーに用紙をセットしてください。
3. ケーブルやコードを接続する
   取り外したケーブルやコードを接続しなおしてください。

安全にお使いいただくために

本書では設置と電源の警告や注意のみを記載しております。必ず本プリンターに付属の取扱説明書 CD-ROM に収められている e- マニュアル（HTML マニュアル）で記載されている「安全にお使いいただくために」もあわせてお読みください。

取扱説明書CD-ROM

マークについて

警告	取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。
注意	取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

設置について

警告

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品の上に次のような物を置かないでください。
  - アクセサリーなどの金属物
  - コップや花瓶、植木鉢などの水や液体が入った容器

  これらが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
  製品内部に入った場合は、直ちにプリンターとコンピューターの電源をオフにし（1）、インターフェイスケーブルを接続している場合は、インターフェイスケーブルを抜いてください（2）。そのあと、電源プラグを抜いて（3）、アース線を取り外し（4）、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- オプション品の取付け／取外しを行うときは、必ずプリンターの電源をオフにし、電源プラグを抜き、プリンターに接続されているすべてのインターフェイスケーブルや電源コード、アース線を取り外してください。そのまま作業を行うと、電源コードやインターフェイスケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

注意

- ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所、振動の多い場所に設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 製品には通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。またベッドやソファー、毛足の長いじゅうたんなどの上に設置しないでください。通気口をふさがれると製品内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 製品を次のような場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
  - 湿気やホコリの多い場所
  - 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
  - 雨や雪が降りかかるような場所
  - 水道の蛇口付近などの水気のある場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 高温になる場所
  - 火気に近い場所
- 製品を設置する場合は、製品と床面、製品と製品の間に手などを挟まないように、ゆっくりと慎重に行ってください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。
- インターフェイスケーブルを接続する場合は、e-マニュアルの指示にしたがって正しく接続してください。正しく接続しないと、製品の故障や感電の原因になることがあります。
- メインボードの取り扱いには注意してください。メインボードの角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。
- 製品を持ち運ぶ場合は、e-マニュアルの指示にしたがって正しく持ってください。製品を落としたりして、けがの原因になることがあります。

電源について

警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを置いたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になります。
- 電源コードが引っ張られた状態にしないでください。電源プラグが緩んで接続が不完全になると発熱し、火災の原因になることがあります。
- 電源コードを踏みつけたり、ステイプルなどで固定したり、重いものをのせたりしないでください。コードがいたみ、そのままご使用を続けると、火災や感電などの事故の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。
- 電源コネクタが接続される製品の差込口にストレスが強くかかると、製品の内部で断線や接触不良が発生し、故障の原因になります。また、火災の原因になる場合もあります。以下のような取り扱いは避けてください。
  - 電源コネクタを頻繁に抜き差しする
  - 電源コードに足を引っ掛ける
  - 電源コードが電源コネクタ付近で曲げられ、製品の差込口に継続的なストレスがかかっている
  - 電源コネクタに強い衝撃を加える
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- アース線を接続してください。万一漏電した場合は感電の恐れがあります。
- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。
  [アース線を接続してもよいもの]
  - 電源コンセントのアース線端子
  - 接地工事（D種）が行われているアース線端子

  [アース線を接続してはいけないもの]
  - 水道管･･･ 配管の途中でプラスティックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。
  - ガス管･･･ ガス爆発や火災の原因になります。
  - 電話線のアースや避雷針･･･ 落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。
- 原則的に延長コードは使用しないでください。また、延長コードの多重配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- アース線を接続する場合は、必ず電源プラグを電源コンセントに接続する前に行ってください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。

注意

- 表示された以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。